

水害・内水被害軽減緊急対策の取組み状況について

1. 事業概要

令和元年10月に発生した台風第19号による豪雨災害を受け、頻発化・激甚化する浸水被害に対応するため、県が管理する排水樋管の操作最適化や操作環境の改善、水防活動支援体制の強化等に緊急的に取り組み、内水被害の軽減を図る。

2. 令和2年度の実施状況

- ① 浸水要因分析を踏まえた総合的な内水対策の検討
 - ・近年の内水被害発生箇所から総合的な内水軽減対策検討するモデル地区を選定
 - ・業務委託を発注し、内水はん濫シミュレーションを実施中（令和3年3月末までに対策検討）
- ② 排水樋管操作の最適化
 - ・①の業務委託においてモデル地区での排水樋管の操作手順書を作成予定
 - ・町内会等地域コミュニティへの操作委託の試行
- ③ 排水樋管の操作環境の改善
 - ・バックホウ脱着式の草刈機を7機配備（令和2年9月末配備済）
 - ・道路照明灯等の明かりが届かない排水樋管の操作台に夜間照明をモデル的に設置
- ④ 水防活動支援体制の強化
 - ・排水ポンプパッケージを購入（令和3年3月までに9機配備予定）
 - ・運用方法検討

3. 今後の取組み予定

- ① 浸水要因分析を踏まえた総合的な内水対策の検討
 - ・道路管理者、水路管理者への改善提案
- ② 排水樋管操作の最適化
 - ・排水樋管の操作手順書の作成、配布
- ③ 排水樋管の操作環境の改善
 - ・樋管操作動線上の草刈を実施
 - ・夜間照明、水位標の設置
- ④ 水防活動支援体制の強化
 - ・排水ポンプパッケージ実動訓練の実施
- ⑤ 内水被害軽減対策の効果の検証
 - ・樋管操作員に操作環境改善に係るアンケートを実施、効果検証
 - ・排水ポンプの配備効果の検証



▲ 台風第19号による内水被害

